

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までにつき職員を1人以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ確保するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	室内は段差のないフラットな環境になっております。児童の特性に応じた環境づくりを心がけ、予定表や手帳表を掲示したり、片付け場所を写真で可視化したりと配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	児童が生活する空間は、温かくつづける場となるように、環境整備や日々の清掃をおこなっております。また、児童の特性や活動内容に合わせて空間を分け、児童がいきいきと活動できる場となるように配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	児童の心身の状態に合わせて、個室やパーティションを使用し、安心して過ごすことができる環境設定をおこなっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	定期的なミーティングやリフレクション会議等で職員間の情報交換や共有を図り、全職員が児童の課題の把握、目標設定、振り返り等をおこなっております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有し、業務の改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	日々の支援会議やリフレクション会議等での職員間の意見交換の時間を大切にしております。すべての職員で情報を共有し、よりよい支援が行えるように努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	事業所内では年間計画に沿った定期的な研修を実施しております。社内研修のみならず、外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	定期的なアセスメントをおこない、児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また、関係機関とも連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	個別支援会議を開催し、職員間で情報共有や意見交換をおこなっております。児童の最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、検討をおこなっております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	個別支援計画の目標や内容について職員間で共有し、計画をもとに日々の療育や活動内容を考え、支援をおこなっております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	標準化されたアセスメントツールを活用し、日々の児童の様子も踏まえて的確な状況の把握に努めております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	児童やご家族の意向とアセスメントを踏まえて、「本人支援」「家族支援」「移行支援」での達成目標と支援内容を計画に記載しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	児童の特性や課題を職員間で共有し、共通理解のもと、一人ひとりの目標に応じた課題や、季節に合ったプログラムをチームで立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	支援計画に沿って、児童や保護者様のニーズに応じた活動ができるよう、各職員がそれぞれの専門性を生かしたプログラムの立案をおこなっております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	児童の特性や状況に応じて、個々の成長を支援する場面と、集団の中で社会性を育む場面から計画を作成し、支援をおこなっております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	前日の振り返りをもとに、支援開始前に打ち合わせをおこない、支援内容や役割分担の確認をおこなっております。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	支援終了後は全員での打ち合わせが難しい場面もありますが、連絡ノートを活用したり、翌日に振り返りをおこなったりすることで、活動中に気づいた点などの情報を共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	日々の療育内容や生活面での気づきを経過記録に残すことで、情報を共有し支援の改善に繋げております。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	6か月以内には必ずモニタリングを実施し、保護者様のご意向を踏まえて児童の現状を把握したうえで計画の見直しをおこなっております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7	児童一人ひとりの課題や状況、支援計画の内容を考察しガイドラインの基本活動を複数組み合わせる具体的な支援計画を作成しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	児童が自ら活動を選択できるよう環境設定を行い、自発的に活動に参加できるように配慮しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	担当者会議には児童の状況や保護者様のニーズを一番把握している児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	関係機関と連携を図り、統一した支援がおこなえるように努めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	行事予定等のプリントを事前に提示していただき送迎の変更等の情報伝達ができっております。また、連絡調整の許可を得たうえで学校と定期的に連絡を取り、共通理解に努めております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	担当者会議や相談支援員さんを通して支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援が統一されるように努めております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	保護者様や相談支援員を通じて、移行先へ児童の支援内容を提供し、情報の共有をおこなっております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	現時点では地域の児童発達支援センターとの連携の機会を持っておりません。	今後、研修等に参加し連携を図ってまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	現時点では、交流の機会を持っておりません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討をおこなってまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	三観地域自立支援協議会の「こども支援部会」に参加しております。	今後、研修等に参加し連携を図ってまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	ご家庭での様子も踏まえて一人ひとりの発達に合わせた支援が提供できるように努めております。日々の様子などは、連絡帳のやりとりや送迎時に保護者様との情報交換をおこない、児童の現状や課題について、共通理解を深めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等へ参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	現時点では、実施できておりません。	今後、保護者様からのご要望がありましたら検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	契約時には児童発達支援管理責任者が分かりやすい説明を心がけ、変更等があった際にはその都度改めてご説明しております。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	支援計画ができた際には、児童と保護者様に計画書を示しながら、目標や支援内容の説明をおこない、児童と保護者様に同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と連携を行っているか。	7	連絡帳でのやりとりや送迎時、また事業所内相談等を通して、保護者様からのご相談やお悩みを丁寧に聞き、助言やアドバイスをおこなっております。職員間でも共通理解を図り、保護者様が安心してご利用いただけるような環境づくりにも努めております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	現時点では父母の会や保護者会等は開催できておりません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討をおこなってまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	保護者様からのご相談や申し入れに対しては、迅速に対応しております。全職員が共通理解に努め、保護者様や児童に安心してご利用いただける環境づくりを目指しております。	
	42	定期的な通信等を送付することや、HPやSNS等を活用することにより、保護者や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	公式WebサイトやLINE公式アカウント等でプログラムの更新や事業所の様子をお伝えしております。また、年4回季刊誌を発行しており、日々の様子は毎月事業所カレンダーに掲載しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	児童の特性や状況に合わせて分かりやすい手段での情報伝達に努めております。保護者様にも丁寧に伝わりやすい表現を心がけております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	7	今年度は、事業所のイベントに地域の方々を招待する機会はありませんでした。	いたうえて児童と地域住民の方が一緒に参加できるような行事の企画を検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	緊急時の対応マニュアルを作成しており、保護者様や職員にも見やすい場所に掲示しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出に必要な訓練を行っているか。	7	業務継続計画を策定し、計画に基づいて定期的に研修や訓練をおこなっております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	7	保護者様より面談時に詳しく情報をいただき、全職員で共有しております。薬の変更や予防接種を受けた場合など、都度状況をおうかがいし、日々の様子の共有をおこなっております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	保護者様より面談時に詳しく情報をいただき、全職員で共有しております。また定期的な状況確認をおこない、情報を更新したり、室内の伝言板に記載したりして、全職員の周知に努めております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	安全計画を作成し、計画に基づいて定期的に研修や訓練をおこなっております。また、点検担当者を決め、チェック項目をもとに毎月の点検をするのと同時に、清掃時には日々の点検もおこなっております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	安全計画及び安全に関する取り組みの内容について周知しております。また緊急時の避難経路や避難場所、引き渡し手順について保護者様と共有し、安全確保に関して円滑な連携が図られるよう努めております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しております。ファイルで保管し、事例について振り返りをおこない、再発防止に努めております。	
	53	事故を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	定期的に職員研修や虐待防止チェックリストを実施し、虐待防止への理解と意識向上に努めております。社内研修のみならず、外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	原則として身体拘束はおこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ず必要となる場合には、組織的に判断し、事前に保護者様へ十分に説明し、承諾を得て、放課後等デイサービス計画に記載することといたします。		